

# キンダースクール：7つの特徴



## Reading Time

最初の15分～20分は、多読の時間です。生徒たちは、自らのレベルに適した本を選び、自分なりのペースで読み進めます。アルファベットの音を組み合わせる単語を読む練習や、フォニックスの規則通りには読めない単語（サイトワード）習得など、繰り返し読むことで、自力で文字を読む力を身につけるための練習に取り組みます。自分のレベルに合った内容から始め、段階的に難易度を上げていくことで、自信をつけながら読解力を向上させていくことが期待されています。

## Circle Time

サークルタイムでは、月ごとのテーマに基づいたテーマ学習やフォニックスに焦点を当てたゲームなどを通じて、生徒たちの発言を引き出す時間です。講師は、オープンエンディッドクエスチョンを通じて答えのない質問を投げかけ、生徒たちが自分の考えを自由に表現する練習をサポートします。長文では答えられず、単語を並べるだけの生徒もいますが、講師は文章に変換するヒントを提供し、徐々に生徒たちが自分の意見や考えを文章で表現できるようになることを目指します。

## Picture Time/Speaking

当校で力を入れているピクチャータイムでは、写真や動画を題材に、自分の考えを自由に表現するスピーキング練習が積極的に行われます。生徒たちは、英語で意見を述べるたり、見たものを表現することにより、英語のコミュニケーション能力を高めていきます。長い文章で表現できなくても単語を使って自分の意見を伝えたり、「～は何とのか？」と英語でどのように表現するのか講師に尋ねることで、アウトプットの機会を多く作っています。

## Literacy/Phonics

当校では、イギリスの小学校の先生が開発したフォニックスプログラム Jolly Phonics をベースに、フォニックスの基礎を効果的に身につける学習が行われています。最初は英語の文章で最も頻繁に使用されるアルファベットから学び始め、徐々に難易度を上げていきます。進むにつれ、生徒たちは先生が言った単語を音だけで聞き取り、それを正確に書くディクテーションなども実施されます。このセッションを通じて、生徒たちは正確なスペルや文法を身につけ、読み書きの基本的なスキルを着実に向上させていきます。

## Role play/Games

英語のサウンドとリズムに合わせて体を動かしたり、お店屋さんごっこなどの体験型学習を通して、コミュニケーションスキルを向上させます。ロールプレイは、現実の状況を再現し、特定のシチュエーションで役割を演じることで、実際の会話や話し言葉の練習を促します。例えば、レストランでの注文の場面では、生徒たちはウェイターや客として役割を担い、メニューを使って注文を行います。また、お店屋さんでの販売員やお客さんのロールプレイでは、実際のやり取りで使うフレーズを練習します。これに加えて、身体を動かして行うゲームやカードゲームなど、英語を学ぶ工夫を取り入れ、様々な種類の遊びを通してメリハリをつけます。

## Natural English

当校独自の英語教材を通じて、ネイティブスピーカーの実際の話し言葉を反復練習し、豊富な語彙と表現力を養います。当校オリジナルの英語教材「Natural English」は、多くの生徒に効果を発揮しており、ネイティブスピーカーの自然な会話に必要な単語やフレーズを中心に構築されています。生徒たちはこの教材を用いて、ネイティブの発音やイントネーションを身につけ、より自然で流暢な英語表現を習得できます。単語やフレーズの反復練習、覚えた文章の応用、ヒアリングと発音の向上を通じて、ネイティブ講師とのリアルな会話にスムーズに参加するスキルを養っていきます。

## Snack Time

スナックタイムは、2時間のクラスの間で短い休憩を取る時間です。お子様には、すぐに食べられる分量のおやつとお飲み物をご用意いただき、スナックタイム中もその日のテーマに関連するビデオを鑑賞しながら学習を継続します。この小さな休憩を取り入れることで、後半の1時間も生徒たちはクラスにより一層集中しやすくなります。

### **目標は自力で本が読めるようになること**

正確な英語の音の習得することは、英語の読み書き、聞き取り、話し方、すべての基礎となります。「キンダースクール」では、たっぷり2時間の中で、英語の音を習得し、リーディング(多読・音読)、ライティング、そして自分の考えを自由に表現するスピーキング練習を通して、英語でのコミュニケーションスキルを伸ばします。

